

付録 4: 中間支援機能チェックリスト(改訂版 Version4)^{1,2,3}

¹ 佐藤真久, 2014, 「平成 25 年度環境省地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業—[プロジェクト・マネジメントの評価]と[中間支援組織の機能と役割]に焦点を置いて」, 平成 25 年度環境省地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業, 『最終報告書』

² 佐藤真久, 2015, 「平成 26 年度環境省地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業—[協働ガバナンスの事例分析]と[社会的学習の理論的考察]に焦点を置いて」, 平成 26 年度環境省地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業, 『最終報告書』

³ 佐藤真久, 2016, 「平成 27 年度環境省地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業—[継続案件の多角的考察]と[協働ガバナンスの事例比較]に焦点を置いて」, 平成 27 年度環境省地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業, 『最終報告書』

【付録 4: 中間支援機能チェックリスト(改訂版 Version4)】
 全国 EPO 連絡会議における中間支援機能(EPO)評価ワークショップに基づき作成

【組織名: _____】 記入日: _____ 実施者: _____

	協働ガバナンスの項目	中間支援機能	項目	自己評価 ○△×	評価をした理由	改善点、 気づき
1	参加の誘発	プロセス支援	[パワーの非対称性についての把握] ● 採択団体を含むステークホルダー間の状況の差(力関係・ヒト・モノ・カネ・情報などの資源)についての情報収集、対策立案、実行、評価 [協力と軋轢の歴史の把握] ● 採択団体を含むステークホルダー間の歴史(協力の歴史、対立の歴史など)、信頼感の程度についての情報収集、対策立案、実行、評価			
2	運営制度の設計	プロセス支援	[広範なステークホルダーの包摂] ● 共有化された目標達成にむけて必要十分なステークホルダーが含まれているか [討議の場の唯一性] ● 協働にむけた討議の場の唯一性・独自性を示せたか [明確な基本原則] ● 明確な基本原則を提示し、その原則に基づいているか(e.g. 契約、実行委員会等の運営原則) [プロセスの透明性] ● 協働に向けた運営プロセスは透明か			
3	協働のプロセス	プロセス支援	[膝詰めの対話] ● ステークホルダー間の直接的で誠意ある対話を促進したか [信頼の構築] ● ステークホルダー間の信頼感の醸成を促進したか [プロセスへのコミットメント] ● ステークホルダーのプロセスへのコミットを促したか [共通の理解] ● ステークホルダー間の、事業目標、戦略、定義等の設定とその共有を促したか [中間の成果] ● 中間成果を生む仕掛けを作り、中間成果を可視化し、ステークホルダー間で共有したか [アウトカム(成果)] ● 協働は成果を生じさせたか(e.g. 協働の目標達成、事業成果、集散的・社会的インパクト) [社会的学習] ● 学習共同体としての条件(e.g. 帰属、共通性、状況性、基盤、相互依存性)を整備したか ● 社会的学習主要素(e.g. 共同体への参画・市民参加・変化のためのパートナーシップ、集学的学習と批判的反省、ビジョン構築とシステム思考)を構築できたか ● 協働における探求プロセスを通して、学習共同体として、ビジョンの構築をし、共に学び合い、さらなる協働のスパイラルの構築に貢献したか			
4	チェンジ・エージェント機能	立地拠点機能	[調査・情報収集] ● 社会的状況の把握と事業環境分析 ● 地域拠点としての情報収集、調査実施等 [活動展示・紹介] ● 企画展示、視察等受け入れ等 [施設・資材貸与] ● 会議室貸与、会合スペース貸与、資材貸与等			
5	チェンジ・エージェント機能	変革促進機能	[活動奨励] ● 後援・共催・協力名義、表彰(コンテスト等) ● 新たなステークホルダーの巻き込み ● ステークホルダー間のネットワーク構築			

			<ul style="list-style-type: none"> ● ステークホルダーの多様性(分野/性別/年齢等)確保 ● やる気を起こさせる仕掛けの設定 ● キャパシティビルディングの場の設定(研修会など) ● アイデアの提示、目標や課題の再設定 ● 新規活動や対応の提示、変革の事例提示 ● 客観的視点や多様な視点の提供 ● チャレンジを促す刺激の提供 ● 成果を出す必要性の強調 ● イノベーション創出の場の設定(ワークショップ等) ● 適切な「問い」の提示 (e.g. 5W1H) ● 事業のオーナーシップの醸成 ● 多様なリーダー(もしくはリーダーシップを発揮するプラットフォーム)の育成 			
			[共同企画・実施]			
			● プロジェクト等の共同企画、共同実施等			
			[政策コミュニケーション]			
			● 政策に関する学習機会提供、政策提言等			
6	チェンジ・エージェンメント機能	プロセス支援機能	[広報協力]			
			● 取組事例の情報発信、イベント等の周知協力、情報編集協力等			
			[コーディネーション]			
● 仕様書の解釈支援、関連情報の提供						
● 月次報告の要請、全体スケジュール管理						
● 文書化のサポート(e.g. 当事者が気づかない成果や課題の指摘)						
● 計画と進捗状況の把握、計画変更・修正のアドバイス						
● 関連団体の活動間の連絡・調整、利害関係者調整、ネットワーク化・協働プロセス支援等						
● 取組参加者間での情報共有の促進						
● ステークホルダーを集めたインフォーマルな場設定						
● 会合・対話、進め方の情報提供、助言						
● マネジメント手法の活用(e.g. SWOTs 分析)						
			[ファシリテーション]			
			● ワorkshop等によるファシリテーション、合意形成・学習プロセス支援等			
			● 合意形成の支援			
			● 適切な「問い」の提示 (e.g. 5W1H の活用)			
7	チェンジ・エージェンメント機能	資源連結機能	[資源提供(情報)]			
			● 研修等の講師紹介、会議場斡旋、関連団体・関連イベント等紹介、潜在的資金源(助成)情報提供、その他関連情報提供等			
			● 専門知、情報との連結、国内外の関連情報の紹介			
			● 暗黙知の形式知への転換、暗黙知と形式知の関連			
			● コミュニケーションの促進(e.g. 行政のことば、NPO のことばの翻訳)			
			[資源提供(人材・組織)]			
● 人材提供(講師派遣、研修等の講師紹介)						
● 専門家の紹介、他企業・経済団体の紹介、ローカルのメディアの紹介、ステークホルダー間の仲介						
● まだつながっていない(が必要とされる)人を紹介						
● 資金提供者とのマッチング						
● ネットワークを活かし適切な団体を紹介						
			[資源提供(物品)]			
			● 物品供与(教材提供、関連ツール提供)			
			[資源提供(資金)]			
			● 直接的資金提供等			
			[資源提供(機会)]			
			● 交流機会提供(協議会開催、全国/地方フォーラム開催)等			
			● 活動機会の紹介・連結			
			● インフォーマルなコミュニケーションの場の設定			

8	チェンジ・エージェント機能	問題解決提示機能	<p>[相談対応・助言(活動)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 活動への助言等 ● 中長期の解決策の提示 ● ステークホルダーに対するコーチング ● 代替案の提示 ● ステークホルダーのニーズ、ウォンツの可視化 ● 解決策を議論する機会の提供 (e.g. ワークショップ) ● 議論の刺激・起爆剤の投入 			
			<p>[問題解決策の提示]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教材・ツール・教案等の開発支援、ESD 活動ノウハウの提示等 ● 被支援者のニーズの引き出し ● やりたい活動等に関するイメージの言語化 ● 利害関係にない有識者・ステークホルダーに信頼される方からのアドバイスの活用 ● 簡単・明瞭な論点の提示、解釈の追加 			
			<p>[相談対応・助言(組織)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織運営への助言等 ● 地方事務所の力をかりることの提案 ● 組織的な関連情報 (e.g. 全国の事例) を紹介 ● 他地域の参考になりそうな制度、システム紹介 			